

株式会社フルサワ

I 企業情報

令和2年4月1日現在

(1) 名 称	株式会社フルサワ					
(2) 所在地	〒737-2131 広島県江田島市江田島町秋月4丁目10-9					
(3) 代表者氏名	代表取締役 古澤 成憲					
(4) 設立年月日	昭和44年9月21日					
(5) 資本金等	2200万円					
(6) 従業員数	100名					
(7) ホームページ	http://www.furusawa-eco.co.jp/index.html					
(8) 保有施設数(企業数) (グループ企業を含む)	浄化等処理施設			セメント製造施設	埋立処理施設	分別等処理施設
	浄化	溶融	不溶化			
	能美工場	○	-	-	-	○
(9) 汚染土壌処理に関する問い合わせ先	部 署: 担当者名: 若月進吾 TEL:0823-42-1602 FAX:0823-42-1726 E-mail: s-wakatsuki@furusawa@furusawa-eco.co.jp					

II 浄化等処理施設

令和2年4月1日現在

1. 処理施設関係

(1) 企業名	株式会社フルサワ
(2) 施設名称	能美工場
(3) 施設の所在地	広島県江田島市沖美町岡大王字横網代2500番9、2500番10、2500番78
(4) 許可番号および許可取得年月日	第0341001301号 平成31年3月4日
(5) 処理方法	①浄化等処理施設(浄化(抽出－洗浄処理)) ②浄化等処理施設(浄化(抽出－化学脱着))
(6) 処理能力	①120t/時間、960t/日 (8時間) ②10m ³ /時間、80m ³ /日 (8時間) ③87.5m ³ /時間、700m ³ /日 (8時間)
(7) 処理前土壌の保管可能容量	3270t
(8) 受入可能な汚染物質と汚染状態	第一種特定有害物質(クロロエチレン) 第二種特定有害物質(水銀及び化合物) 第三種特定有害物質(ポリ塩化ビフェニルPCB) 上記以外の物は濃度に上限なく受け入れ可能

2. 処理実績

2-1. 年間処理実績

(単位:t)

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1)受入量			899	4,167
(2)処理量 (浄化等処理分)			899	4,167
(3)処理後土壌の発生量				
①処理後土壌のうち、浄化確認調査を行った浄化等済土壌の販売等	販売(利用)量		173.64	851
	用途		自社工事	埋戻し等
②処理後土壌のうち、浄化確認調査を行っていない土壌の利用等	利用量		0	0
	用途			
③処理後土壌のうち、汚染土壌として処理を再委託した土壌	再委託量		0	0
	再委託先			
(4)処理前土壌保管量(年度末時点)			0	202
(5)処理後土壌保管量(年度末時点)	浄化等済土壌		850	1,863
	処理後土壌			

2-2. 法対象と法対象外の内訳

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1)法対象と法対象外の件数	法対象	/	0(件)	0(件)
	法対象外		1(件)	5(件)
(2)法対象と法対象外を受入量	法対象	/	0t	0t
	法対象外		898t	4,167t
(3)法対象外土壌において汚染土壌管理票を使用しないケースの有無		1. ある <input checked="" type="radio"/> 2. ない(全案件で管理票使用)		
(4)上記で「1. ある」の場合、使用しない理由(事情)				
(5)法対象外土壌における浄化確認調査の実施頻度と方法	実施頻度	100m ³ 毎		
	調査方法	環告18号(26項目)、19号(9項目)		

注) 平成29年度:平成29年4月～平成30年3月
 平成30年度:平成30年4月～平成31年3月
 平成31年度:平成31年4月～令和2年3月

3. 技術的能力関係

(1)統括管理責任者	1人	
(2)運転維持管理担当者	1人	
(3)大気関係公害防止担当者	1人	大気関係第1種公害防止管理者
(4)水質関係公害防止担当者	1人	水質関係第1種公害防止管理者
(5)ダイオキシン類関係公害防止担当者		

Ⅲ 分別等処理施設

令和2年4月1日現在

1. 処理施設関係

(1) 企業名	株式会社フルサワ
(2) 施設名称	能美工場
(3) 施設の所在地	広島県江田島市沖美町岡大王字横網代2500番9、2500番10、2500番78
(4) 許可番号および許可取得年月日	第0341001301号 平成31年3月4日
(5) 処理方法	分別等処理施設(異物除去)
(6) 処理能力	87.5m ³ /時間、700m ³ /日(8時間)
(7) 処理前土壌の保管可能容量	3270t
(8) 処理後土壌の保管可能容量	1577t
(9) 受入可能な汚染物質と汚染状態	第二種特定有害物質(水銀及び化合物) 第三種特定有害物質(ポリ塩化ビフェニルPCB) 上記以外の物は濃度に上限なく受け入れ可能

2. 処理実績

2-1. 年間処理実績

(単位:t)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1)受入量	/	0	0
(2)処理量 (分別等処理分)		0	0
(3)処理後土壌の発生量		0	0
(4)処理前土壌保管量(年度末時点)		0	0
(5)処理後土壌保管量(年度末時点)		0	0

2-2. 法対象と法対象外の内訳

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
(1)法対象と法対象外の件数	法対象	/	0(件)	0(件)
	法対象外		0(件)	0(件)
(2)法対象と法対象外の受入量	法対象		0t	0t
	法対象外		0t	0t
(3)法対象外土壌において汚染土壌管理票を使用しないケースの有無		1. ある <input checked="" type="radio"/> 2. ない(全案件で管理票使用)		
(4)上記で「1. ある」の場合、使用しない理由(事情)				

注) 平成29年度:平成29年4月～平成30年3月

平成30年度:平成30年4月～平成31年3月

平成31年度:平成31年4月～令和2年3月

3. 技術的能力関係

(1) 統括管理責任者	1人	—
(2) 運転維持管理担当者	3人	—
(3) 大気関係公害防止担当者	1人	
(4) 水質関係公害防止担当者	1人	
(5) ダイオキシン類関係公害防止担当者	0人	

VI その他(全施設共通)

1. 汚染土壌管理票の保管

管理票の保管期間について	① 法対象外も含め、全て5年間保管している。 ② 法対象は5年、法対象外は <input type="text"/> 年間保管している。 ③ 法対象外案件は保管しない。(返送確認後、処分) ④ その他(<input type="text"/>)
--------------	---

2. 定期測定実施状況

(1) 測定頻度について *該当しない場合無記入で可	処理施設からの排水: <input type="text" value="なし"/> 周縁の地下水: <input type="text" value="1年"/> に1回以上 *排出口からの大気有害物質: <input type="text" value="1年"/> に1回以上
(2) 測定対象について	① 法対象、法対象外案件を問わず実施している。 ② 法対象のみ定期測定の対象としている。 ③ その他(<input type="text"/>)
(3) 測定項目について	① 全て法に規定される項目で測定している。 ② 法対象のみ法に規定される項目で測定している。 ③ その他(<input type="text"/>)

3. 都道府県等への処理状況報告

(1) 報告実施状況	① 全案件について報告している ② 法対象案件のみ報告している ③ 求められたときのみ報告している ④ 報告はしていない
(2) 報告頻度	<input type="text" value="3カ月"/> に1回 または (<input type="text"/>)
(3) 報告の義務	① 報告の義務あり ② 任意の報告